

いのちの言の葉2010

富山県教育委員会 平成 22 年度いのちの教育総合支援事業

「菊のいのちを受け継ごう」

射水市立片口小学校 5 学年児童

平成 22 年 9 月 11 日

平成 23 年 1 月 30 日実施

【いのちの先生】

久々江 清弘先生

- ・片口校区連合自治会副会長
- ・片口小学校 P T A 顧問

【授業の概要】

- 1 「いのちの先生」の紹介
- 2 「いのちの先生」の話
 - (1) 菊を育てることを通して
 - (2) 地域の子どもたちに伝えたいこと
 - (3) 菊作りへの挑戦（大鉢6）
- 3 地域感謝デー（1月30日）
 - (1) 感謝の気持ちを伝える感謝集会
 - (2) 菊のいのちを来年の5年生に伝える約束



いのちの授業を受けて（児童の感想）

わたしは、久々江さんのお話を聞いて、驚きました。菊が年々いのちをつないでいることが初めて分かりました。そして、大切に育てられた菊の大鉢を6つも貸してくださったので、絶対に大きな菊の花を咲かせるぞと思いました。この菊の苗を6年生が去年育てていたのかと思うと、本当に不思議な気持ちになりました。花にもいのちがあると何となく知っていたはずなのに、あらためて、いのちが受け継がれていくのだなあと思いました。

いのちの授業を受けて（児童の感想）

菊の大きな、きれいな花が咲きました。白色、黄色、赤紫色です。毎日鉢を回して、いろいろな角度から同じように太陽の光が当たるように気をつけました。「花は、お世話をしたら、必ずきれいな花を咲かせてくれる。裏切らないんだよ。」と久々江さんが言われたことを思い出しました。

これまで、菊の花のように大きな花は見たことがありませんでした。それに、菊は奥の花びらの色が濃く深くなっていて、すごくきれいです。こんなきれいな菊を、協力してみんなで育てたのかと思うと本当にうれしいです。来年の5年生もぜひ菊を育ててほしいです。

